

《耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物(愛媛県が管轄する区域内の分)】》

《R5.6更新》

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、公表します。

■学校(小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校)

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	四国中央市立金生第一小学校 (南校舎、北校舎)	四国中央市金生町下分1665番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.35 Ctu・Sd=0.41	-	-	耐震改修済み
2	四国中央市立南小学校 (北棟、南棟)	四国中央市金田町金川145番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.47	-	-	耐震改修済み
3	四国中央市立三島小学校 (北校舎、東校舎)	四国中央市三島中央三丁目2番25号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.45	-	-	耐震改修済み
4	四国中央市立川之江北中学校 (管理教室棟、教室・特別教室棟、西渡り廊下棟、東渡り廊下棟)	四国中央市川之江町2390番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.33 Ctu・Sd=0.43	-	-	耐震改修済み
5	四国中央市立川之江南中学校 (管理教室棟、教室・特別教室棟、西渡り廊下棟、東渡り廊下棟)	四国中央市上分町395番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.60	-	-	耐震改修済み
6	四国中央市立三島西中学校 (北校舎棟、管理棟、昇降口棟、南校舎棟)	四国中央市中之庄町乙38番地の1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.33 Ctu・Sd=0.39	-	-	耐震改修済み
7	愛媛県立しげのぶ特別支援学校 (本館、第1教棟、第2教棟)	東温市田窪2135番地	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.38 Ctu・Sd=0.72	-	-	耐震改修済み
8	伊予市立郡中小学校 (校舎)	伊予市上吾川甲110番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.50	-	-	耐震改修済み
9	伊予市立中山中学校 (校舎)	伊予市中山町出淵2番耕地165番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.35 Ctu・Sd=0.73	-	-	耐震改修済み
10	松前町立岡田小学校 (普通教棟、特別教棟)	松前町大字西高柳156	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.46	-	-	耐震改修済み
11	松前町立松前小学校 (北校舎、中校舎、南校舎)	松前町大字筒井1175	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.37 Ctu・Sd=0.51	-	-	耐震改修済み
12	松前町立北伊予中学校 (普通教棟、特別教棟、渡り廊下棟、玄関棟)	松前町大字神崎415-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.40 Ctu・Sd=0.46	-	-	耐震改修済み
13 (欠番)								対象建築物 建替完了 (令和4年2月)
14	八幡浜市立八代中学校 (校舎①)	八幡浜市八代1丁目2番1号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.35 Ctu・Sd=0.33	-	-	耐震改修済み

《耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物(愛媛県が管轄する区域内の分)】》

《R5.6更新》

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、公表します。

15	大洲市立長浜小学校 (特別・普通教室棟)	大洲市長浜甲190番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.74	-	-	耐震改修済み
16	内子町立天神小学校 (9-A棟、9-B棟)	内子町平岡甲455番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.35 Ctu・Sd=0.76	-	-	耐震改修済み
17	内子町立内子小学校 (10-1A棟、10-1B棟、10-2棟)	内子町内子3147番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.29 Ctu・Sd=0.64	-	-	耐震改修済み
18	宇和島市立住吉小学校 (校舎①、②)	宇和島市住吉町870番地2	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.35 Ctu・Sd=0.61	-	-	耐震改修済み
19	宇和島市立和霊小学校 (校舎①、②、③、⑦)	宇和島市伊吹町甲111番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.44 Ctu・Sd=0.54	-	-	耐震改修済み
20	宇和島市立天神小学校 (校舎①、②)	宇和島市丸穂字大土屋甲978番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.49	-	-	耐震改修済み
21	宇和島市立明倫小学校 (校舎①-1、校舎①-2)	宇和島市文京町4番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.73	-	-	耐震改修済み
22 (欠番)								対象建築物 除却済み (平成29年7月)
23	宇和島市立三間中学校 (校舎③-1-1、③-1-2、③-1-3)	宇和島市三間町戸雁1046	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.67	-	-	耐震改修済み
24	愛媛県立宇和特別支援学校 (本館、普通教棟、渡り廊下①、②)	西予市宇和町永長1287番地1	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.37 Ctu・Sd=0.49	-	-	耐震改修済み
25	西予市立宇和中学校 (教室棟④、教室棟⑦、管理棟⑤、渡り廊下棟⑥)	西予市宇和町下松葉629番地1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.72	-	-	耐震改修済み
26	西予市立野村中学校 (普通教室棟、特別教室棟、管理棟、渡り廊下棟)	西予市野村町阿下7号147番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.33 Ctu・Sd=0.33	-	-	耐震改修済み
27	西予市立三瓶中学校 (普通教室棟、管理棟、特別教室棟)	西予市三瓶町津布理48番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.35 Ctu・Sd=0.36	-	-	耐震改修済み
28	鬼北町立近永小学校 (校舎1-①、1-②、1-③、2・3、4)	鬼北町奈良3774	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.46	-	-	
29	鬼北町立広見中学校	鬼北町永野市1200	中学校	-	-	建替え	令和6年3月 (完了予定)	
	渡り廊下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.87 Ctu・Sd=0.22	建替え	令和6年3月 (完了予定)	
	管理棟、第1教棟、第2教棟-1、第2教棟-2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.31 Ctu・Sd=0.74	-	-	耐震改修済み
30	愛南町立平城小学校 (特別教室棟、普通教室棟)	愛南町御荘平城2332番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.37 Ctu・Sd=0.31	-	-	耐震改修済み

《耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物(愛媛県が管轄する区域内の分)】》

《R5.6更新》

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、公表します。

■病院、診療所

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	愛媛大学医学部附属病院	東温市志津川字前川甲172番1他	病院	-	-	-	-	
	外来棟、中央診療棟、リハビリ棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.22 Ctu・Sd=0.34	-	-	耐震改修済み
	病棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1997年版)(鉄骨:充腹材)	Is/Iso=1.22 Ctu・Sd=0.30	-	-	耐震改修済み
2	宇和島市立津島病院	宇和島市津島町高田丙15番地	病院	-	-	-	-	
	南診療棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.27 Ctu・Sd=0.72	-	-	耐震改修済み
	北病棟、管理棟、機械棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.27 Ctu・Sd=0.72	-	-	

■集会場、公会堂

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	国立大洲青少年交流の家	大洲市北只1086	研修施設	-	-	-	-	
	東階段室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める「第2次診断法」	Is/Iso=1.42 Ctu・Sd=0.43	-	-	耐震改修済み
	西階段室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める「第2次診断法」	Is/Iso=1.09 Ctu・Sd=0.34	-	-	
	管理棟、メインホール棟、食堂棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.28 Ctu・Sd=0.32	-	-	耐震改修済み
	音楽棟、車庫棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=2.07 Ctu・Sd=0.69	-	-	

《耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物(愛媛県が管轄する区域内の分)】》

《R5.6更新》

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、公表します。

■ホテル、旅館

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	ウエルビア伊予	伊予市下三谷1761番地1	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.18 Ctu・Sd=0.67	-	-	
2	ホテルサンパール	愛南町御荘平城681番地	ホテル	-	-	未定		
	ホテル・レストラン棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.11 Ctu・Sd=0.04	未定		
	ボウリング棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.02 Ctu・Sd=0.02	未定		

■保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1 (欠番)								対象建築物 建替完了 (令和元年9月)
2	宇和島市本庁舎	宇和島市曙町1番地	公益上必要な建築物	-	-			
	高層棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨:充腹材)	Is/Iso=1.00 Ctu・Sd=0.41	-	-	耐震改修済み
	低層棟							対象建築物 建替完了 (令和5年3月)

《耐震診断の結果の公表【要緊急安全確認大規模建築物(愛媛県が管轄する区域内の分)】》

《R5.6更新》

建築物の耐震改修の促進に関する法律附則第3条第3項において準用する同法第9条の規定に基づき、公表します。

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。	II. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。	III. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{tu} \cdot S_d < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{tu} \cdot S_d$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	鉄骨が充腹材の場合 $I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{tu} \cdot S_d < 0.125 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{tu} \cdot S_d$
	鉄骨が非充腹材の場合 $I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{tu} \cdot S_d < 0.14 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{tu} \cdot S_d$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合 $I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{tu} \cdot S_d < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{tu} \cdot S_d$
	鉄骨が非充腹材の場合 $I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{tu} \cdot S_d < 0.14 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{tu} \cdot S_d$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める「第2次診断法」	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{tu} \cdot S_d < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{tu} \cdot S_d$

Z(地域指標)=0.9、G(地盤指標)=1.0、U(用途指標)=1.0、Rt(震動特性係数)=1.0 (ただし、いずれも愛媛県が公表する施設である場合に限る。)

I. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

II. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

III. 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※)震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては、損傷が生ずるおそれや倒壊するおそれは少ない。

(※)『構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果』の欄に記載の、 I_s/I_{so} に用いる I_{so} は、一律、Z(地域指標)=0.9、U(用途指標)=1.0として算定した。